



第 **36** 号

2019年
慈英病院
広報誌

真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します

新年度のご挨拶 病院長 前田正存



皆様、いかがお過ごしでしょうか。院長の前田です。

平成31年、最初のご挨拶となります。

今年の冬は、全体的には暖冬だと思います。ただ、寒暖の差が激しく体調管理には気を遣います。

11月より3月初旬までは例年インフルエンザの流行時期となります。

今シーズンは特に昨年12月よりインフルエンザが猛威を振っております。学校や職場でかなりの患者が出ているようです。困ったことに予防接種を受けた人でもインフルエンザに罹っているようです。ただ、予防接種を受けていると症状が軽く発熱も37度台です。そのため、インフルエンザか通常の風邪かの確実な区別は検査するまで判らない状態です。不安な方

は、一度検査を受けることをお勧めします。予防は、マスク(特に人の多く集まる所)の装着と手洗いが(水道水で十分)です。最近、気になるのがそのマスクの使い方です。マスクで鼻まで覆わずに鼻が出てしまっている方が多いことです。これでは十分な効果が発揮できません。アドバイスとして、マスクをつける前に半分に完全に折って、それから広げて装着する事をお勧めします。外来のインフルエンザ患者は、一時のピークは過ぎましたが毎日1~2名は来られているようです。まだ、十分注意が必要なようです。ここまで風邪の予防に注意を払うかと言いますと、入院中の患者が年々重症化・高齢化してきており、少しの油断が患者の生命に影響を与えるからです。今シーズンの院内でのインフルエンザ発症は、1名出ております。すぐ隔離し、治療をしており蔓延はしておりません。おかげで患者家族の面会禁止などの制限をせずにすんでおります。これは、院内での感染防止の取り組みやご家族の方にも無料でマスクを配布して感染防止に努めたことが効果を現わしていると考えております。

政府の最近の方針は、急性期と回復期はしっかりケアするが、慢性期は在宅で療養するというのが基本方針のようです。ただ、在宅で高齢者を介護していこうとしても、独居老人など在宅に介護してくれる家族がほとんどいないか全くいない患者様もかなりの数になります。食事など生きていくのに最低限必要なことも自力では困難な患者様には、在宅で生活するのは高いハードルだと思います。このような現実を考えていくと、果たして政府が考えるように慢性期の医療を減らしていけるのか不明です。

そのような政府の方針の中で、当院のような療養病床の病院も慢性期の医療を支える役割を果たしていくことになっております。患者様やご家族の希望に十分応えられない面もあろうかと思われませんが、諦めることなく少しでも出来ることをやり続けていこうと思っております。これからも、「真心を込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指す。」という理念に恥じないように頑張っていきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。

最後に、開院以来の方針で玄関にスリッパに履き替えるなど患者様やお見舞のご家族の方々かなりの負担を強いてきておりました。そこで、3月より当院も土足のままでOKと致します。

初めまして！？ 医療ソーシャルワーカーの宮崎です

昨年12月に入職しました、宮崎 浩（みやざき ひろし）と申します。

医療ソーシャルワーカー（MSW）って、なんだか耳慣れないと思います。簡単に言うと「病院で働く福祉の専門家」でしょうか。

どうして、病院に福祉なの！？と思われるかもしれません。

病院にはいろんな患者様が入院されますが、高齢一人暮らしや認知面が低下している方、体に障害があったり経済的に厳しい、身寄りが居ないなど、もともと「生活のし難さ」を抱えていて入院すると、なかなか元の生活に戻る事が難しくなってしまいます。

私たち医療ソーシャルワーカーは、そのような患者様やご家族とよく相談して、今何が一番の困り事なのか、それをどうしたらよいか、課題を共有して解決へのお手伝いをさせていただきます。

皆様、よくご存じの介護保険制度をはじめ、様々な社会福祉サービスのご紹介や、地域の支援職の皆様（包括支援センターなど）と連携して、皆さんと知恵を絞りながら、スムーズな退院のご支援をしております。

私は、長く急性期の病院で働いていました。「患者様をご紹介する病院」から「患者様をご紹介して頂く病院」に立場が変わりましたが、急性期でも慢性期でも、患者様やご家族はなんら変わりません。少しでも、皆様のお役に立てるよう、お仕事したいと思います。よろしくお願ひ致します！！



ある日の家屋評価（退院まえの卒業試験）で。 リハビリ（作業療法士）、患者様と（掲載諾）

クリスマス会の報告(病棟)



ご家族と共に楽しまれていました。



病室にいる時以上の素敵な笑顔です。



クリスマス会の報告(通所リハビリ)



女性職員は、ハンドベルを行いました。



食事も皆で食べると、美味しいです。

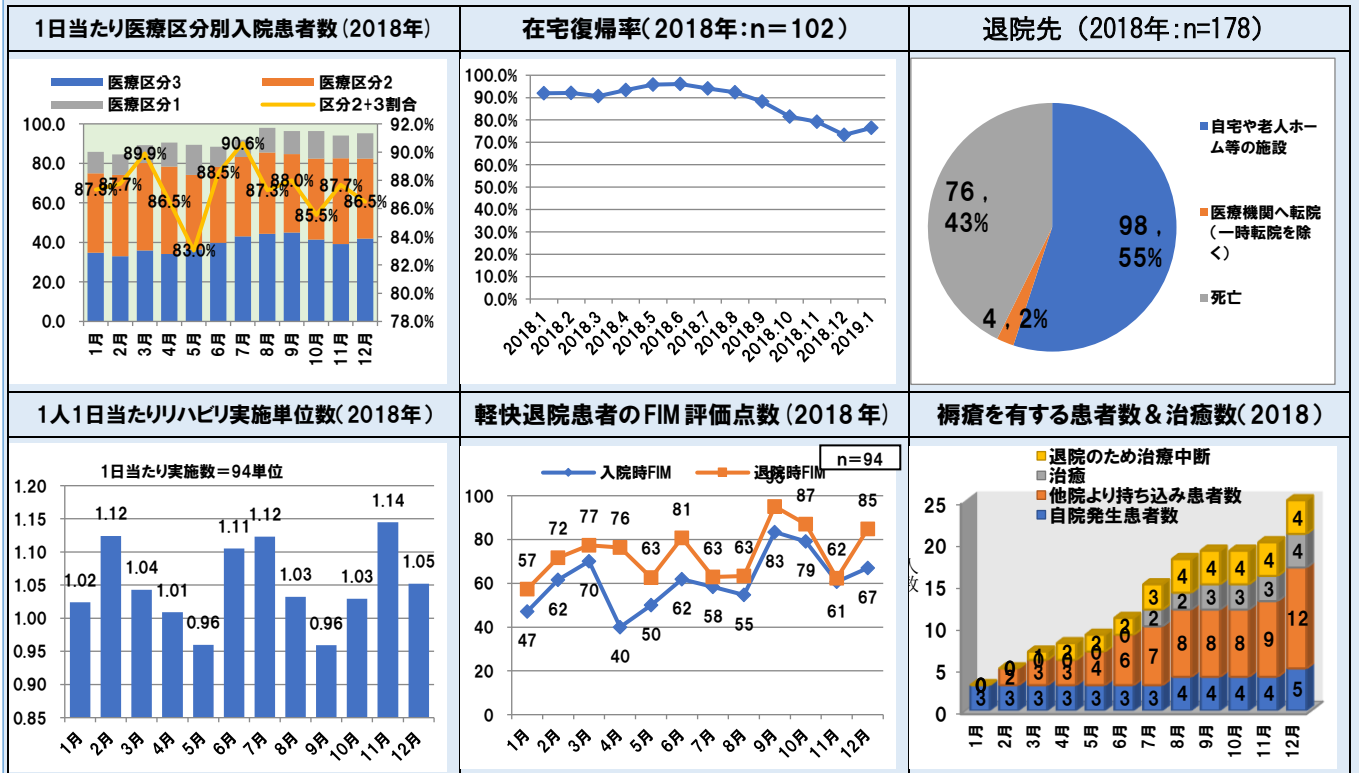


景品をかけて、ビンゴ大会を行いました。



景品がゲット出来て、満面の笑みです。

クリニカルインディケーター 2019年(平成31年)



大好評！家族教室の案内

第20回家族教室の案内

【テーマ】

「知っておきたい！食事の食べさせ方、トロミってどんなもの？」

【場所】

慈英病院 2階東食堂

【期日】

3月10日(日)14:00～15:00

【内容】

言語聴覚士による、口(舌)の動き・食事の正しい食べさせ方等、ご自宅でも食事介助できるよう話をを行います。その後、トロミ剤を使った飲料体験・当院のムース食(1食分)を見て頂き、実際にムース食は、どのようなものか食べて体感して頂きます。



医療法人社団 栄正
慈英病院

診療科目：内科・神経内科・リハビリテーション科
〒880-0853 宮崎市中西町 160 番地
TE0985-23-5000 FAX 0985-23-5886
URL : <http://www.jiei.jp>

編集委員

- 東洋一 中村峻介
- 小川登喜子 長友淳子
- 仲田由加 黒松和子
- 清武充子 酒井晃
- 宮崎浩